紫波ネット

SHIWA-NET
人と人をつなぎ地域をサポートする広報紙

9

No.823 | 2011

PICK UP
暑い夏満喫
第40回
紫波夏まつり

季節の Photo
そばの里まつり
会場（牡丹野）

今月の表紙 SHIWA-NET
「地震に備えて作ったよ」
手作り防災ずきん

古館第二子どもの家では、子どもたち23人がタオルと毛糸を使った防災ずきん作りをしました。古館小3年生の高橋茉子（まこ）ちゃんは「自分で作れてうれしかった。地震の時にかぶって逃げます」と防災への意識が高められた様子でした。

特集 親子で楽しむ読書の秋！ 04
子どもたちと一緒に読書してみませんか

02 暑い夏満喫 第40回 紫波夏まつり
10 オガール通信
12 環（わ）のくに紫波
13 小学生日記
14 健やかランド紫波
16 まちの話題
22 こちら、あらえびす記念館「銭形平次を読み解く」第18回
24 シリーズ 行ってみよう 私の好きな紫波百景 地域の力で生まれた夕陽色の街道「彦部コスモスロード」

紫波ネット823号　平成23年9月14日発行
岩手県●紫波町
〒028-3392紫波町日詰字西裏23-1
印刷・川嶋印刷株式会社

満喫～第40回紫波夏まつり～

セミの鳴く声が暑さを一層際立たせていた8月7日、紫波運動公園を会場に「第40回紫波夏まつり」が開催されました。

オープニングセレモニーとともに午後2時に屋台村がオープンし、総合体育館前のテラスを利用したステージでは、紫波一中吹奏楽部の演奏を皮切りに、ダンスやバンド演奏などが次々に会場を活気づけました。盆踊りや花火の時間帯には訪れた約1万人が運動公園を埋め尽くしにぎわいました。

Esperanza

星山ユニサイクルスポーツ少年団

Dance space A☆ria

Sirius.A

OHHO

チェリー&ベリー

商工会女性部

勤労青少年ホーム

議会政務調査会

紫波総合高等学校PTA・郷土芸能部

桜町北通公民館婦人部

桜田姉っこ隊（桜田公民館）

紫波第一中学校吹奏楽部

暑い夏

祭輿會（神輿運行）

絵美夏ライブ（スペシャルステージ）

赤石民謡愛好会（民謡と民踊）

小田中朋美（ピアノ弾き語り）

ビッグ・トルネード～大巻

町民ボランティア運営スタッフ

We loveさんさ（さんさ踊り）

交通安全母の会連絡協議会

高木公民館婦人部

連合婦人会

日詰14区女性部

町職員互助会

紫波一中生が会場清掃

夏まつりの翌8月8日、紫波第一中学校の全校生徒が早朝6時から夏まつり会場に集まり、大規模な清掃活動を行いました。

これは「フェスティバクリーンキャンペーン2011」と名付けられた大規模な学校奉仕活動。生徒会執行部が中心となり「地域に感謝の気持ちを表そう」「地域に貢献できる中学生であろう」などの目標を掲げ、全校生徒とPTAなど約600人が参加しました。

関係スタッフだけでは2日以上かかる清掃作業、生徒たちは1時間半で町指定ごみ袋13袋分を拾い集めました。早朝からの作業お疲れさまでした。

蝦名浩明さんご家族（平沢）

引っ越して来たばかりなので、紫波の夏まつりは初めてです。たくさんの人とバリエーション豊かな花火が近くで見られて良かったです。花火は家からも見えますが、大勢が楽しんでいる雰囲気がいいですね。来年も来たいです。

木下花子さん（矢巾町）と佐藤文香さん（矢巾町）

青少年ホームの一員として盆踊りに参加しました。飛んだり跳ねたりする銭形平次音頭はテンションが上がりますね。紫波の夏まつりは初めてですが人の多さにびっくりです。踊りに参加して楽しかったです。

親子で楽しむ読書の秋！子どもたちと一緒に読書してみませんか

つながるひろがる 紫波ネット

未来をみつめ心豊かに生きる人や地域を訪ねて、地域の明日をひらく活動とともに紫波町の魅力をご紹介します。

涼風そよぐ季節となりました。秋といえば実りの秋がすぐ思い浮かびますが、秋は読書の秋でもあります。秋の夜長に読書を楽しんだ経験のある人は多いことと思います。

今回、紫波ネットがお届けする特集は、親子で楽しむ読書のおすすめです。町には、小学校や公民館などの公設の図書室のほかに、家庭文庫やボランティア文庫があることをご存じでしょうか。子どもの情操教育の一環としての読書に注目し、率先して自宅の所蔵図書を地域の親子に開放し、ボランティアとして読み聞かせなど読書支援活動を行っている皆さんに「読み聞かせ」の魅力や「おすすめの本」を紹介していただきました。

「おはなしの森」自宅文庫に本を借りに集まった子どもたち

子育てで体験した読み聞かせの感動を伝えたい

「おはなしの森」代表　**菅原和子**さん

おはなしの森移動文庫の様子（虹の保育園）

平成11年に始まった、おはなしの森の活動は、今年で13年目を迎えています。当初は、地域のお母さんたちが集まり、子どもと本や物語との橋渡しサークルとして活動を始めました。月に1回の定例会を開き、本の学習会や読み聞かせ勉強会を行い、不定期ですが会報「もりのなか」の発行や依頼を受けてのおはなし会を開いていました。

現在では、私の自宅に常設文庫「おはなしの森文庫」を開き地域の親子に開放しているほか、町内の公民館や児童館、保育所などに出向いて、子どもと本との出会いの場を企画し、絵本や本と親しむ機会をつくる移動文庫の活動も行っています。

なによりもお伝えしたいのは、子どもと一緒に絵本や物語の世界を旅することの喜びや感動を多くの人に体験してほしいということです。私が子育てで体験した読み聞かせの感動を多くの人に伝えたいと思います。

初めて寄りそえた子どもの世界

子育ての中で子どもの感受性や心の動きをなかなかつかめないという感覚をもたれているお母さんがいらっしゃると思います。私もその一人でした。私は絵本を読んであげることで、同じ世界を共有する楽しみを知りました。絵本がもたらす何気ない会話や共感する喜びを通して初めて子どもの世界に近づき、子どもに寄り添えたと感じることができました。

一緒に楽しむ時間を工夫しましょう

家事に仕事に忙しい毎日だからこそ、工夫して絵本タイムを持つことを心がけてはいかがでしょう。大切なのは、かけがえのない我が子に読んであげられる幸せを思うことでしょうか。絵本を通して、喜びを分かち合える今この一瞬に感謝できたなら、

「おはなしの森」の主な活動

○各地区巡回 移動文庫

子どもと本との出会いの場を企画し、絵本や本と親しむ機会をつくる活動を行っています。本の貸し出しを通して、家族で本に親しむ時間を持っていただけるよう働きかけています。また、移動文庫では、読書相談も行っています。

常設文庫「おはなしの森文庫」や移動文庫での本の貸し出しでは、好きなときに好きなだけ読書に親しむことができるように貸し出し冊数や期限をもうけていません。

○定例会

毎月定例会を開き、ボランティアスタッフ11人が、子どもの本について学び合い、知識を深め、よりよく伝えるために読み聞かせの技術の研鑽に努めています。

○出張お話会

中央公民館主催の「木曜お話会」にボランティアとして参加しています。また、小学校や地区公民館、保育所などの依頼を受けておはなし会活動を行っています。

「おはなしの森」お問い合わせ

南伝法寺字久保屋敷170-3

TEL&FAX 673-6291

おはなしの森でよく借りられる人気の本

『おふろだいすき』
松岡享子・作、林明子・絵
（福音館書店発行）

『あっちゃんあがつく』
さいとうしのぶ作・みねよう原案（リーブル発行）

子育てが心から楽しくなると思います。

自分も新鮮でいられる読み聞かせの魅力

骨太な物語絵本、ナンセンス・ユーモラスな絵本、感動して泣けるお話など、さまざまなジャンルの絵本を子どもと共に楽しむうちに、忙しさに紛れてしまった子ども時代の感性が呼び覚まされていく感覚に気づきます。子どもと一緒に心がプルッ！この新鮮な感動をぜひ皆さんにも体験してほしいと思います。

日本文化や異文化との出会い

絵本で古き良き日本の伝統文化を再発見したり、また、描かれている風景や生活様式や会話から、初めて出会う異文化に驚いたり笑ったり。「世の中広いなあ」とグローバルな視点で親子の会話が弾みます。

日常の中に本がある環境づくり

子どもの成長に合わせて高価な絵本を買いそろえるのは、個人では至難の業です。私も子育て時期には、公共の図書を利用して、読み聞かせをしたり絵本を読ませたりしていました。「おはなしの森」の活動は、親子がいつでも手にとって読むことのできる本がある環境を提供したいという思いから始まっています。楽しい子育て時代を送ってほしい、心豊かに子ども時代を暮らしてほしい、そんな思いを込めて今日も草の根活動を続けています。

本の魅力を伝える工夫が必要です

「ふれあいミニ図書館」**長谷川弘子**さん

日詰小学校教諭を最後に教職を退職し、その翌年の平成2年に自宅の車庫二階にミニ図書館を設け、約300冊の本を地域の子どもたちに無料で貸し出しを行ってきました。教職在職中は、自費で全国学校図書館協議会の推薦図書を購入しクラスに備え、児童へ読んで聞かせることもありました。毎年少しずつ増やしてきた絵本などの蔵書は、約800冊を数えるまでになっています。現在では年に数回、地域の公民館などで読み聞かせ会を開き、本の魅力や読書の魅力を子どもたちに伝えています。

読書は心の栄養です

小さい頃から本を読んでいると心の栄養になります。小さいときの感動を大人になってから自分の子どもに伝えることもできます。いつまでも記憶に残る本が良書であり大切な本なのだと思います。

読書のくせをつけましょう

一日に一回、親子で本を開いてみるといいですね。意外に子どもは読書が好きだということが分かります。

好きなものを自由に読ませましょう

大人は、読書というと難しい本や良書といわれる本にこだわりがちですが、あまり子どもの読書に干渉しないことが大切です。子どもたちを少し解放して、好きなものを自由に読ませましょう。子どもは読んでダメなものは選ばないものです。

読みたい本を探すきっかけづくりが大切です

自由に読みたい本を読む習慣をつけるためには、読みたい本を探すきっかけづくりが大切です。まずは、図書室や家庭文庫など他人の意見を聞くことのできる場所で本選びをすることを薦めます。

親があれこれ指示するよりも、みんなが使う場所だと子どもたちは素直に大人の意見を聞くようです。図書室や家庭文庫は、親子の情報交換の場にもなっていますね。

大切なのは語りかけること

子どもが読書好きになる工夫があります。それは、読んだ本の感想を問いかけ親子で話し合うことです。また、読み聞かせでは、途中まで読んで、お話の続きを読ませること。読むことに興味を持たせる工夫です。低学年のうちに本の好きな子に育てたいですね。

「土曜日や日曜日の午前中などで、私が家にいるときであればお貸しすることができますので、お声をかけてください」

「ふれあいミニ図書館」お問い合わせ
日詰西4丁目4-9　☎676-3055

おはなしの森移動文庫(古館公民館)

菅原さんのご自宅にあるおはなしの森文庫

ひよこひろばの貸し出しの様子

おはなしの森移動文庫(長岡児童館)

わいわい広場(古館公民館)

子どもにとって本は遊びの一部です

おはなしの部屋「いないいないばあ」
菱川美子さん

「いつでも自由に借りられるのがうちの特徴です。どうぞ気軽にいらしてください」

おはなしの部屋「いないいないばあ」
お問い合わせ 日詰字東裏121番地
☎672-3540

小学校教諭を退職した後に、自宅の一室に図書コーナーを設けて、おはなしの部屋「いないいないばあ」を開設しました。開設当時の子どもたちは、近所で遊んでいて遊びの合間に本を読みにきて、また外で遊ぶという利用の仕方でした。子どもたちにとっては、本を読むことが遊びの一部になっていました。それは今でも変わりないようですね。最近は、夏休みの朝の体操の時に出向いて本を貸し出しています。

おもしろかったらいつでも、いつまでも、借りていいよ

私の文庫では、子どもたちに、いつでも、いつまでも、おもしろかったら借りていいよと言っています。自由な方式で気軽に利用できるのが家庭文庫の魅力です。

読書は遊び感覚でいいのです

6年生だから幼稚園の本を読んではいけないということはありません。読書は、遊び感覚でいいのです。本に親しむ時間や環境があれば、子どもたちは自然と自分の好奇心の導くままに良書にめぐりあうものなのです。

子どもの力で行けるところに文庫がある環境

子どもの図書館はポストの数ほどほしいということを読んだことがあります。家庭文庫の良いところは、身近に図書がある環境があることです。子どもの力で行けるところに良書を備えた文庫がある。そんな環境づくりも大切です。

親子で読書を楽しむためのおすすめの本

読み聞かせボランティアを実践されているお二人に、読書の秋に親子で読書を楽しむためのおすすめの本を紹介していただきました。

菅原和子さんのおすすめ

『すいかのたね』さとうわきこ作・絵
(こどものとも傑作集・福音館書店発行)
おばあさんが植えたすいかのたねをめぐるお話です。森の動物たちとおばあちゃんのお話ですが、さて、すいかのたねはどうなったのでしょう。

『ロバのシルベスターとまほうのこいし』
ウィリアム・スタイグ作、せたていじ訳
(評論社の児童図書館・絵本部屋)
魔法によって石になったロバのシルベスターは、お母さんの願いがかなって、もとにもどってくるというお話ですが、物語の力を感じさせる良書です。4〜5歳から楽しめる本です。

『バナナのはなし』文・伊沢尚子、絵・及川賢治(福音館書店発行)
お話形式で科学にふれる本です。バナナのすじが栄養を運んでいるって知っていますか。身近な素材で大人も知らない科学の世界を伝えています。

長谷川弘子さんのおすすめ

『ごんぎつね』日本おはなし名作全集12(小学館発行)
日本の名作童話を集めた本です。親子で楽しむ本としておすすめします。

『手ぶくろを買いに』新美南吉・作、黒井健・絵(偕成社発行)
子どもが、はらはらどきどきしながら読んでみたくなるお話です。物語を読む感動を楽しみ、感受性を養いましょう。

『虔十公園林』(けんじゅう)宮澤賢治・作、伊藤亘・絵(偕成社発行)
ある日、虔十少年は家の裏の野原に杉苗を700本も植えることを思いつきます。お話はずんずん急ぎ進んでいきます。さて、虔十少年の杉林は実現したのでしょうか。賢治童話としては短編ですが、大人も考えさせられる秀作です。

公民館図書室のご利用案内

各地区公民館に図書が配置されているのをご存じですか。平日の開館時間であれば、どなたでも借りることができます。それぞれの公民館のきまりを確認して、ぜひご利用ください。

古館公民館
(水本千恵子指導員)
月～金曜日、小学生は木曜日のみ(職員が事務室にいるとき)、午前9時～午後4時、約2500冊

水分公民館
(菅原樹乃美指導員)
月～金曜日、午前9時～午後4時、約1000冊

志和公民館
(熊谷育子指導員)
月～金曜日、午前9時～午後4時、約250冊

赤石公民館
(岡市久美子指導員)
月～金曜日、午前9時～午後4時、約1500冊

彦部公民館
(長牛由美子指導員)
月～金曜日、午前9時～午後4時、1人5冊まで2週間以内、約2000冊

佐比内公民館
(川村国江指導員)
月～金曜日、午前9時～午後4時、約1000冊
(毎月第3木曜日に読書ボランティアによる「おはなし会」を実施)

赤沢公民館
(岩間幸子指導員)
月～金曜日、午前9時～午後4時、約500冊

長岡公民館
(福士まり子指導員)
月～金曜日、午前9時～午後4時、約500冊

■子育て支援ひろばなどのボランティア団体も、利用者に絵本の貸し出しをしています。開催日は『紫波ネットお知らせ版』でご確認ください。(わいわい広場は古館公民館にご確認ください)

ひよこひろば
(開催場所:古館公民館)
就学前の親子対象、月1回開催、午前11時～11時30分、1人2冊まで、約470冊

にこにこひろば
(開催場所:志和公民館／水分公民館)
就学前の親子対象、月1回開催、午前9時30分～11時30分、約250冊

なかよしひろば
(開催場所:赤石公民館)
就学前の親子対象、月1回開催、午前11時～11時30分、約300冊、毎月読み聞かせをしています。

わいわい広場
(開催場所:古館公民館)
希望する古館小学校の児童たちと地域の人たちが、放課後に古館公民館に集まり、学年間・世代間の交流を深める場。読み聞かせは当初、大人のボランティアが読んでいましたが、「自分たちが読みたい」ということで、いつしか児童たちが大人たちに読み聞かせをするようになりました。

■中央公民館の移動図書館「かたくり号」は、毎月1回町内を巡回しています。詳しくは『紫波ネット』お知らせ版をご覧ください。
■中央公民館図書室「胡堂文庫」は、図書館建設に伴い現在閉館しています。新しい図書館の完成は平成24年8月以降の予定です。

みんなが考えたみんなの施設
子育て応援センター
平成24年7月開設

町のにぎわいを創出しようと整備が進められる紫波中央駅前に、「紫波の子ども」を育てていくお父さん・お母さんを応援し、地域住民やボランティアグループと一緒に子育てを支える施設として、「子育て応援センター」が来夏7月のオープンを目指して整備されます。

子育ての拠点として

いま、子育てを取り巻く環境は、大きく様変わりし、家の近くで子どもたちのにぎやかな声が聞かれるような姿はあまり見られなくなりました。少子化・核家族化が進むことで、親子連れや子どもたちが身近な場所で交流する機会が少なくなっています。

子育て応援センターは、町が平成22年3月に策定した、『次世代育成支援後期行動計画』の中で、子育てに自信と夢が持てる拠点づくりの重点プロジェクトと位置づけた施設です。

オガールプラザ内のさまざまなテナントや、周辺の体育施設を利用する住民が数多く行き来するこの場所に、子育て中の親子だけでなく、たくさんの人たちが立ち寄りたくなるような施設を目指していきます。

情報交流館に隣接 オガールプラザ東棟2階

オガールプラザ東棟の2階約500㎡を、町がオガールプラザ㈱から賃借して設置する複合的な子どもの施設です。1階設置の意見もありましたが、検討を重ね2階への設置を決定しました。紫波中央駅前に位置する立地の良さと、多用途に活用できる情報交流館と隣接した子どもの成長にふさわしい環境を備えます。

2階イメージ図

施設の機能 子育て応援センターには、次の機能を備えます。

【子育て支援】
赤ちゃんや小さい子どもと一緒に気軽に立ち寄れる公園のような広場です。子育てに関する相談や、お母さんの友だちづくりの場にもご利用ください。

【一時預かり】
1歳以上で就学前の子どもを短時間預かります。保護者のリフレッシュや家庭の都合などで必要なときにご利用ください。(利用時間数に応じ自己負担があります)

【放課後児童クラブ】
放課後に保護者がいない家庭の児童を預かります。夏休みなどの長期の休みにも利用ができます。(利用は登録制で、自己負担があります)

紫波中央駅前町有地活用事業「実施方針」を公表

―民間事業者のアイデア提案募集―

町は、紫波中央駅前町有地の「事業用地D街区（図の赤い部分）」を民間事業者などに活用してもらうため、「建物の用途」「事業条件」「事業実施に必要な基本的事項」を『紫波中央駅前町有地活用事業（その2）実施方針』と定め公表しました。フットボールセンターとの連携や相乗効果が生まれる施設、または、教育関連施設などの誘導を図ることが盛り込まれており、今年いっぱい公表したのち、事業者の募集を開始する予定です。

これとあわせ、町有地の統一感ある活用を図るため、「事業用地A街区」と「住宅用地街区」について、民間事業者から「アイデア提案」を募集します。詳しくはホームページをご覧ください。

【問合せ】企画課 公民連携室　☎672-2918（直通）
ホームページ：http://www.town.shiwa.iwate.jp/ppp/

「紫波マルシェ」出荷者募集

紫波中央駅前のオガール地区に、平成24年6月のオープンを目指して整備が進められている官民複合施設「オガールプラザ」。この施設に入居が決まっている産直「紫波マルシェ」に農作物を出荷する生産者を募るため、オガール紫波株式会社が紫波マルシェ生産者募集説明会を開催しました。町内11カ所目となる産直を駅前に開設する趣旨や思い、出荷のルールなどが説明されました。

説明会は、7月30日と8月2日の2日間で延べ4回、JAいわて中央本所で開かれ、約200人が参加。生産者からは「入会審査はどのように」「陳列方法は」「2年後でも入会できるか」など、多くの質問が寄せられました。

県内最大級の売り場面積となるこの産直に、出荷を希望する人は、オガール紫波株式会社にお問い合わせください。
☎681-1316

JAいわて中央本所で開かれた説明会の様子

多くのご意見を参考に

これまで、子育て応援センターの利用・運営に関してワークショップや意見交換会を行い、住民の皆さんから多くのご意見をいただいてきました。例えば「親子連れで気軽に利用できる施設であってほしい」「利用登録にして参加者も責任を持ちたい」「仲間作りの場として機能させたい」などです。

町は、この施設を中心にして、子育てする親とそれを支え合うたくさんの住民との関係が生み出されていくことを期待しています。

協働で子育てができる施設にしたい

ワークショップ参加者
佐藤周子さん
（子育てボランティアなかよしひろば代表）

ワークショップでは、子育て中の母親ばかりでなく、ボランティアや施設の職員などが、毎回20人以上集まり、全6回にわたって熱く語り合ってきました。

今度できる施設は、誰がいつ訪れても子育てに関われる場であってほしいと思います。子育てに関心がある人などが、気軽に遊びに来られたら、地域ぐるみで子育てをする環境ができると思うのです。運営形態をどのようにするのかによっても、施設の方向性はだいぶ変わってきます。「協働のまちづくり」を進める町ですので、住民が一緒に運営にも関われるようになることを望んでいます。

環のくに紫波

森林保全活動の環大きく
國學院大學と協定

左から　藤原町長、國學院大學加藤副学長、紫波みらい研究所阿部理事長

國學院大學（赤井益久学長）は平成16年度から毎年、ＮＰＯ法人紫波みらい研究所を通じて、町内で間伐などの森林保全活動を実施しており、これまで延べ２５０人の学生や卒業生が町を訪れ、活動や民泊を通じて多くの町民と活発に交流してきました。

これまでの事業を将来に向かって安定的に継続していくという共通理念の基、町と大学、そして紫波みらい研究所の３団体が、８月７日に協定を結びました。

循環型エコプロジェクトに賛同
企業から協賛金

みちのくコカ・コーラボトリング株式会社（矢巾町）から８月９日、ペットボトルキャップ回収促進事業に対する協賛金として２万１０００円の寄附をいただきました。今回が２社目です。

町は、二酸化炭素の排出量削減に取り組む「循環型エコプロジェクト推進事業」に協賛する企業を募集しています。

左から小田島産業部長、みちのくコカ・コーラボトリング（株）盛岡営業部の松岡理事、同営業部の藤田エリア統括シニアマネジャー

被災地への支援の環
環境改善支援金を募集
～おひさまひまわりプロジェクト～

県内における津波被災地の事業所・公共施設・個人住宅に対し、太陽熱温水器などの新エネルギー設備設置の支援を目的に、企業などからの寄附金を募集しています。

寄附金は、工事費や配送代として活用されます。

■問合せ　環境課　循環政策室
☎（６７２）６８９２

話題スポット

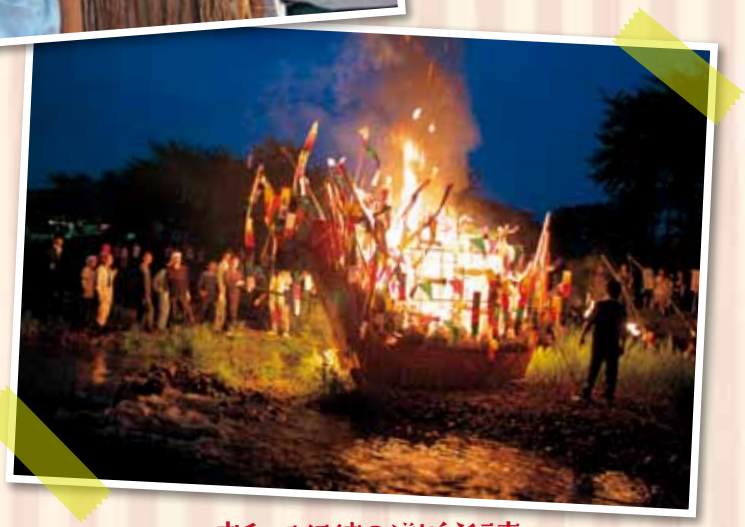
カブトムシと子どもたち

赤沢地区の高齢者たちが8月9日、赤沢児童館の子どもたちにカブトムシと遊んでもらおうと、近所のヒラタケを栽培する農家から提供された約 50 匹のカブトムシを赤沢公民館に持ち寄り、相撲や木登り競走をさせて楽しみました。

年長組の藤田美晴(みはる)ちゃんは「投げ飛ばすところがかっこよかった」と話していました。

楽しい体験いっぱい♪子どもの祭典

夏空広がる7月31日、あらえびす記念館協力会(澤口たまみ会長)主催のキッズフェスティバルがあらえびす記念館で開催されました。自然観察や俳句づくり、昔の遊び体験などでにぎわい、子どもたちの元気な声が響いていました。



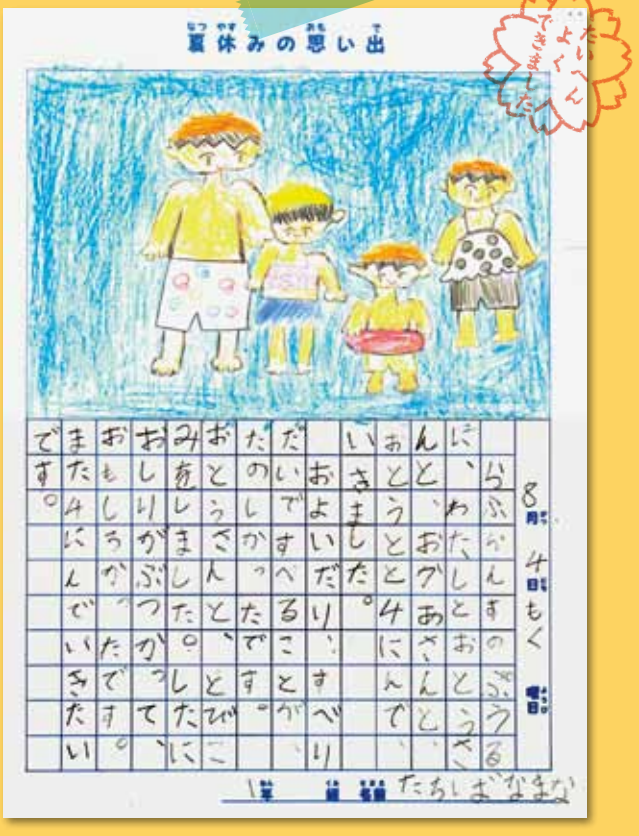
志和で伝統の送り盆行事

志和の舟ッコ流しは、戦後に一度途絶え、昭和40年代に志和八幡宮氏子青年会の発足と共に復活し、毎年8月16日に行われています。初盆を迎えた25人の名を記した和紙が飾られた2舟は、地域を練り歩いた後、滝名川を志和橋のたもとまで流され、霊を送り出すために燃やされました。同青年会の高橋一弘会長は「志和は吉里吉里との関係も深く、今年は震災犠牲者の供養の意味を持たせています」と話していました。

小学生日記

町内各小学校の旬な情報を児童の作文を通じてお届けします。

水分小学校 1年生
橘(たちばな) 茉那(まな)さん



子育て支援ひろばでスイカ割り

子育て支援ひろばの一つ、なかよしひろばは8月19日、地元で採れたスイカを使い、赤石公民館でスイカ割りを楽しみました。この日は地元の中学生も参加し、にぎやかに交流していました。

ご当地グルメに新メニュー「紫波もっちりハムカツ」

(株)紫波まちづくり企画は、町産ヒメノモチを県産豚ハムで挟んで揚げた「紫波もっちりハムカツ」の販売を始めました。「紫波もちもち牛コロッケ」や「紫波コロッケ」に続くご当地グルメとして、ラ・フランス温泉館や果里ん亭、各イベント会場などで販売されます。

健康

長引く咳は危険信号!?～結核の常識～
9月24～30日は結核予防週間です。

結核はどんな病気?

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。明治時代から昭和20年代までの長い間「国民病」と恐れられた結核。50年前までは、年間死亡者数・死亡原因の第1位でした。今でも**1日に66人の新しい患者**が発生し、**6人が命を落としている日本の重大な感染症**です。けっして過去の病気ではないのです。

症状は?

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。次の症状が出たときは結核を疑って、早めに医療機関を受診してください。

●咳が2週間続く　●痰がでる　●体がだるい　●急に体重が減る

保健センター
高橋保健師

どうやってうつるの?

結核は空気感染する病気です。結核菌の混ざった痰が咳やくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによってうつります。

感染したら、必ず発病するの?

結核に感染したからといって、必ず発病するわけではありません。健康で体力があれば、通常は免疫機能が働いて結核菌の増殖を抑えられます。栄養状態が悪く、体力が低下すると、免疫力が弱まり、発病しやすくなります。

発病したら治らないの?

発病しても、医師の指示通り毎日薬を飲めば治ります。治療の基本は服薬です。しかし、咳が治まったからといって治療の途中で薬をやめてしまうと、菌は薬への耐性を増し、時に薬の効かない多剤耐性菌になることがあります。必ず医師の指示を守って服薬を続ける必要があります。

結核の予防と定期検診を!

お家でできる簡単な予防法としては、「睡眠時間を十分にとる」「適度に運動する」「バランスのとれた食事をとる」です。また、抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症化しやすいので、生後3～6カ月未満にBCGの定期予防接種を受けましょう。

自分自身の健康を守ることはもちろんのこと、家族や友人などへの感染を防ぐためにも定期的に検診（胸部X線検査）を受けましょう。

お知らせ

元気はつらつ水中運動教室（後期）

水中運動は、健康増進、身体機能回復、ストレス解消など、さまざまな効果が期待できます。
初心者も気軽にお申し込みください。

■**日　時**　10月3日～2月27日（毎週月曜日、冬休み期間・祝日を除く）全17回　午後1時30分～3時
■**会　場**　ラ・フランス温泉館プール
■**参加費**　1回100円・プール利用料別(回数券あり)
■**定　員**　25人
■**申　込**　受付は9月15日（木）から　長寿健康課 健康推進室　☎672-4522　有線01-8991

健康

肝炎ウイルス検査 一生に一度は受けましょう！

肝炎ウイルスに感染していると、そのウイルスによって肝臓の細胞が壊れ、進行すると肝硬変・肝がんになることもあります。肝がんを防ぐには、肝炎の早期発見・早期治療が重要です。

まだ検査を受けていない40歳以上の人は、肝炎ウイルス検査（血液検査）を早く受けましょう。

○県央保健所

◆**検査日**　第1・第3水曜日（祝日を除く）

◆**受付時間**　午前10時～11時

◆**申込・問合せ**　☎629-6573

○町内医療機関

◆医療機関で受ける場合は、直接医療機関へお電話でお問い合わせください。

医療機関名	電話番号
紫波地域診療センター	676-3311
加藤胃腸科内科医院	672-3699
川守田医院	676-5553
はたふく医院	672-2121
すずきあきひこ消化器内科クリニック	671-2011
渡辺内科医院	672-3667

募集

参加者募集！ 元気はつらつ 城山ウォーク

「スポレクフェスタ in 紫波」のイベントとして開催。運動公園から城山周辺までの約5kmをみんなで元気に歩きませんか。

■日時　10月2日(日)　午前8時30分
紫波運動公園集合（小雨決行）

■服装・持ち物　運動靴を履いて飲料水とマイカップを持参(ゴールで麦茶が出ます)

■申込・問合せ　9月29日(木)まで
長寿健康課 健康推進室
☎672-4522
有線01-8991

体よろこぶレシピ

なすのソース

紫波町食生活改善推進員協議会　赤沢地区会員
吉田 和子さんのレシピです

今日の素材POINT

オリーブオイルにはポリフェノールが含まれていて、動脈硬化の予防に効果があると言われています。我が家では、ソースを作って、食事に取り入れています。

材料(4人分)

なす（中）……2本
オリーブオイル……大さじ2

肉料理、魚料理、いろいろなものと相性が良いソースなので、飽きずに食べられます。

作り方

①なすは皮をむいて、水にさらしてアク抜きをする。
②蒸し器または電子レンジで熱を加え、縦に手でほぐす。(しっかり加熱したほうが、軟らかくなりほぐしやすい)
③②のなすをさらに細かくみじん切りにする。
④③をオリーブオイルとあわせ、5分ほどなじませたら出来上がり。

八戸市の小学生が志和を訪問

八戸市内の小学6年生45人が7月27日、今年で13年目を迎える「南部藩ゆかりの都市との交流事業」で当町を訪れました。児童たちは、中陣大神楽の見学やそば打ち体験、八戸藩の飛び地であった志和代官所跡を見学しました。日沢宏紀くんは「志和は小さい町なのに、米がたくさん作られていたと知り、すごいと思いました。歴史を学べて良かったです」と学校への報告を楽しみにしていました。

代官所跡で熱心に説明を聞く児童たち

楽しい音楽、あふれる笑顔

ショッピングセンターナックスで7月30日、「音とふれあいコンサート」が開かれました。地元の人に地元のホールで生演奏を体感してほしいと紫波さぷり（細川恵子代表）が企画。歌や演奏、パフォーマンス、佐比内金山太鼓など盛りだくさんの内容でした。赤石地区から来た田中ひとみさんは「とても来やすく、楽しいイベントなので、もっと町内外に広まってほしいです」と話していました。

ジャグリング世界チャンピオン CONRO の舞台に盛り上がる会場

機械を使っての収穫作業

稀少！国産ビールホップ佐比内で収穫

サントリー酒類（株）と国内で唯一栽培契約を結ぶサントリーホップ生産組合（藤代金一組合長）は、8月24日からホップの収穫作業を行いました。「70軒ほどあった組合員は現在、佐比内4軒と石鳥谷2軒のみ。今年は放射能検査の結果を待っての収穫でした」と組合員の高橋正さん。収穫したホップは、桜町にある作業所で摘花し、乾燥後にペレット状にして群馬県のビール工場に配送されます。

ラ・フランス温泉館入館者400万人達成

ラ・フランス温泉館の日帰り利用者数が8月26日に400万人に達し、400万人目に入館した八戸市の中村俊治さんに1年間無料入浴券と自園自醸ワインなどが贈られました。中村さんは「温泉巡りが趣味で岩手にもよく来ます。一生に一度あるかないかの出来事ですね」と喜びの表情でした。同温泉館は平成9年4月に開業し、12年に100万人、15年に200万人、19年に300万人を達成。

目録を手にする中村さんご夫妻

100歳のお祝い 日詰の佐藤愛子さん

介護老人保健施設シェーンハイムやはばで8月8日、入居する佐藤愛子さん（日詰）が100歳の誕生日を迎え、お祝い会が開かれました。町婦人会長を昭和42年度から16年間務められた佐藤さんのお祝いに、現役役員も大勢駆け付けました。佐藤さんは「毎日みんなとリハビリを兼ねた遊びで競ったり笑ったりするのが楽しみ。体のため毎朝果物を摂るようにしています」と笑顔で話していました。

藤原町長からお祝いを受け取る佐藤さん

100歳のお祝い 水分の竹原センコさん

特別養護老人ホーム百寿の郷で8月22日、竹原センコさん（水分）の100歳のお祝い会が開かれました。施設利用者など約120人が見守る中、水分児童館の児童たちが踊りを披露、もちつきや誕生日ケーキの贈呈なども行われました。長男の竹原武さんは「長生きなのは、偏食が無く86歳まで農作業をするほど達者だったからでは。今日は本人もうれしそうです」と目尻を下げていました。

藤原町長から花束を受け取る竹原さんと親族の皆さん

鎌倉街道跡で説明会

片寄字古道地内にある町指定文化財鎌倉街道跡に南側延長の存在が見つかったのは平成20年のことでした。町教育委員会は本年度、JR東北本線西側にある片寄字野尻地内で、その延長約250メートルのうち、約120メートルを発掘調査し、8月27日に現地説明会を行いました。今回の調査で、幅約10メートルの街道跡や側溝、盛岡藩と八戸藩の境を示す藩境塚を検出。8、9世紀ごろの土師器球胴甕の破片も出土しました。

発掘された街道跡と側溝

「おいしいそばだね」志和でそばの里まつり

5年目を迎えた「紫波そばの里まつり」は、志和地区の牡丹野地内で8月27日に開催されました。満開のそば畑に囲まれた会場は、牧草を刈り取った休耕田。周囲に出店が立ち並び、そば畑を背景にしたステージでは、漆原栄美子さんの民謡ショーが行われました。実行委員会の照井利継会長は「町内のそば作付面積は350ヘクタールで県内一。今年は天候にも恵まれ、過去最高のでき」と目を細めていました。

この日500食を売り上げた稲一そばは、子どもたちにも大人気

英語力高める特別教室

町教育委員会は国際的に活躍できる人材育成を目的に、8月8日から5日間、ジュニア英会話教室を開催。町内中学校の2、3年生21人が選抜され、外国語指導助手のハワード主事の指導のもと、英会話力の向上を目指しました。紫波三中3年生の佐藤正典君は「国際化が進み英語が重要となっていくので、しっかり英語力をつけて頑張っていきたい」と話していました。

教室内の会話は英語だけというルール

放射性物質の検査結果を公表します

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染が心配される中、町や県は独自に放射性物質検査を実施しましたので、その結果をお知らせします。結果はいずれも健康に影響を与える数値ではありませんでした。

各小中学校は基準値以下

町は、先月お知らせしたプールに続き、校庭の空気中や土壌を検査しました。

■採取場所と結果
校庭などの土壌については、基準値は設けられていませんが、水田土壌におけるコメの作付制限の基準（5000Bq／kg）を下回る数値です。また、空間中についても基準を下回っています。（左表）

■検査機関 エヌエス環境株式会社

各校庭の深さ5cmを採土　◆採取日 8月29日
放射性物質量（単位:Bq/kg）

各校庭の空間中
◆採取日 8月9、10日
放射線量（単位:μSv/h）

学校名	放射性ヨウ素	放射性セシウム			地上50㌢	地上1㍍
		134	137	合計		
日詰小学校	検出下限値以下	14	17	31	0.08	0.08
赤石小学校		28	29	57	0.09	0.09
古館小学校		13	19	32	0.06	0.06
水分小学校		9.2	16	25	0.05	0.05
上平沢小学校		36	42	78	0.07	0.07
片寄小学校		57	73	130	0.12	0.12
彦部小学校		24	39	63	0.11	0.10
星山小学校		34	31	65	0.06	0.05
佐比内小学校		21	34	55	0.09	0.09
赤沢小学校		8.5	17	26	0.09	0.09
長岡小学校		13	11	24	0.08	0.08
紫波第一中学校		25	27	52	0.10	0.10
紫波第二中学校		15	12	27	0.07	0.06
紫波第三中学校		27	48	75	0.10	0.09

※除染の対象となる国の基準は、放射線量1μSv/hです

水道水は不検出

町は、厚生労働省の指針に基づき、町内5水源の浄水を対象に検査しました。

■採取日時 8月24日（水）午前11時～正午

■採取場所 古館保育所／水分公民館／グループホームゆうゆう北沢（長岡）／産直センターあかさわ／しわふる里センター（佐比内）の各水道水

■検査結果 放射性ヨウ素、放射性セシウムともに不検出のため安全です。

■検査機関 岩手県医薬品衛生検査センター

牛肉はすべて暫定規制値以下

県は、県産牛肉の一頭一頭を検査しており、8月29日から9月8日までにと畜された町産牛肉については、すべて暫定規制値以下の結果でした。

■検査機関 （社）岩手県薬剤師会

※暫定規制値＝飲食物摂取制限の指標となる値
※暫定許容値＝飼料などに含まれることが許容される最大値

農産物は不検出、牧草は許容値以下

県が町内で実施した作物別の検査結果は、すべて暫定許容値を大幅に下回る結果でした。（左表）

品目	採取日	検査機関	放射性ヨウ素	放射性セシウム
牧草	5月18日	環境科学技術研究所（青森）	不検出	44.0（暫定許容値300以下）
きゅうり	6月29日	岩手県環境保健研究センター	不検出	不検出
小麦	8月8日	岩手県環境保健研究センター	不検出	不検出
ぶどう	8月31日	岩手県環境保健研究センター	不検出	不検出
飼料用とうもろこし	9月1日	（財）新日本検定協会（神奈川）	不検出	不検出
飼料用ソルガム	9月1日	（財）新日本検定協会（神奈川）	不検出	不検出
米	9月8日	岩手県環境保健研究センター	不検出	不検出

たくさんの支援に感謝します。

～東日本大震災・救援物資の配送報告～

東日本大震災で被災した方々への緊急支援に際し、たくさんの個人・団体・企業の皆さまから多大なるご支援をいただきまして、衷心より感謝申し上げます。

提供いただいた救援物資は、次のとおり被災者の皆さんのもとへ配送しましたので、この紙面を持ってご報告に代えさせていただきます。

（役場に届けられた個人支援の内容です。他団体を通じての支援や、直接被災地に支援された内容は含まれていません）

救援物資の配送状況

※町購入物資と県へ寄せられた物資を含む

《配送場所・日付》大槌町（3／15）、田野畑村（3／16）、山田町（3／16）、大槌町（3／18～23 中央公民館・吉里吉里小学校・安渡地区・赤浜地区）、町内避難者（3／19～8／11）

《協力いただいた物資》

【食品】米、菓子パン、野菜、缶詰、菓子、レトルト食品など **【衣類】**肌着、靴下、衣類、組布団など **【生活用品】**ラップ、使い捨て食器、洗剤、タオル、上履きなど **【福祉・衛生用品】**紙おむつ、粉ミルク、生理用品、マスク、ドライヤーなど **【その他】**カセットコンロ、トランプ、腕時計など

■問合せ 福祉課 福祉推進室
☎（672）2111　内線1521

暮らしの情報

催し

第10回山屋ふるさと祭り

■日時
9月25日(日)午前10時～午後4時
■会場　山祇(やまずみ)神社境内
■公演　「早池峰岳神楽」①11:30～②13:30～　「山屋田植踊」14:40～
もちまき大会15:30～
■問合せ
山屋夢楽(むら)づくり実行委員会(菅原)
☎676-2292(午前6時30分～8時、午後6時30分～8時)

スポレクフェスタin紫波

幼児から大人まで楽しめるウォーキングやテニスでのストラックアウトなど、町内スポーツ団体が運営するスポーツイベント。詳しくは総合体育館や地区公民館に備え付けのパンフレットをご覧ください。

■日時
10月2日(日)　午前8時30分開会
■会場　紫波運動公園ほか

フリーマーケット出店者募集

会場でフリーマーケット出店者を募集します。(出店無料、1区画3×2m程度、先着5人)詳しくは体育協会まで。
■問合せ　体育協会
☎676-2650　有線01-3151

ふれあいフェスタ2011

障害者に対する正しい知識の普及と、文化活動を通じて健常者との交流を図るイベントが開催されます。
■日時　10月2日(日)午前10時～(100人にエコバッグ進呈)
■会場　ナックスホール
■ステージイベント　男性保育士によるチーム「ファンタジスタ」／ビッグトルネードライブ／虹の保育園・福祉施設などの歌や踊り／日詰かじ町さんさ
■イベントコーナー　ふれあいバザー／福祉施設手作り作品・食品販売(アイスやパンなど)／バルーンアート／キャップハンディ体験／巨大トランポリン／抽選コーナー
■問合せ　ふれあいフェスタ2011実行委員会(事務局:社会福祉協議会)
☎672-3258

募集

後期スポーツ教室 受付は9月22日午前9時から

受講するには、総合体育館で会員登録が必要です。(幼児無料／小中学生800円／高校生以上1300円／60歳以上1000円)

①キンダースポーツ教室(総合体育館)
11月11日～2月24日毎月第2・4金曜日(8回)
(12月を除く)午前10時～11時30分
遊びを通じて運動能力を向上。親子で思い切り体を動かします。
対象:幼児(2歳以上)と保護者(20組)／参加料2000円

②ジュニア水泳教室(ラ・フランス温泉館)
11月12日～12月17日毎週土曜日(6回)午後6時～7時
水泳の基本を学びながら体力向上を目指しませんか。
対象:小学校1～3年生(各学年10人)／参加料1500円(プール利用料別)

③水中運動教室(ラ・フランス温泉館)
9月30日～12月9日毎月第2・4金曜日(6回・9/30を除く)午後2時～3時
水の浮力と水圧を体感しながら体を動かします。
対象:一般成人男女(30人)／参加料1500円(プール利用料別)

④ヨーガ教室(総合体育館)
11月12日～1月21日毎週土曜日(10回)午前10時～11時30分(12/31は休講)
ホームヨーガの基本を習い、心と体の両面から健康になりましょう。
対象:一般成人男女(25人)／参加料1500円

■申込・問合せ　体育協会
☎676-2650　有線01-3151

農林課からのお知らせ

①研修生受け入れ農業経営体を募集!

次世代を担う農業者を確保・育成するため、新規就農者を研修生として受け入れ、実習指導をする農業経営体を募集しています。

◆農業経営体　町内で農業経営している人
◆受入期間　平成26年3月までの、6ヵ月以上
(各月8日以上の受入れが必要です)
◆手続方法　「受入農業経営体」の登録が必要です。

②新規就農者の研修受講を支援

◆対象
- 町内に住所がある15歳以上60歳未満の人
- 町内新規就農者受入経営体で6カ月以上研修を受ける新規就農者(各月8日以上の研修が必要)
- 研修終了後、引き続き町内に住所があり、2年以上就農できる人

◆支援内容(支援期間2年以内)
- 助成金(12カ月まで月4万円、13カ月以降月3万円)
- 家賃助成(研修期間中の家賃の1／2、上限月2万円)など。

③農産物加工の技術習得を支援

6次産業化に向けた農産物加工技術の習得に助成金を交付します。

◆対象　農業者または農産物の食品加工事業者(町内に事務所のある法人なども可)
◆内容　町内産農産物の付加価値を高めるために行う「食品加工技術を習得するための研修事業(研修派遣・講師招請)」にかかる交通費、宿泊費、講師謝金
◆期間　3カ月以内の研修期間分

■問合せ　農林課　農政企画室
☎672-2111　内線3323　　有線 01-8931

■**募集期間**
9月28日(水)～10月27日(木)
■**資料閲覧場所**
県庁行政情報センター・県民室／盛岡行政情報サブセンター／アイーナ3階いわて希望プラザ／県公式ホームページ
※詳しくは県公式ホームページサイト内で「意見募集と実施結果」と入力して検索
■**問合せ**　県庁政策地域部政策推進室評価担当　☎629-5181

紫波消防署の電話番号が10月1日から変わります

新電話番号　☎676-7119
(旧電話番号　☎672-2400)
火事と救急は119番です。

相　談

司法書士による全国一斉成年後見相談会

■**日時**　9月23日（金・祝）午前10時～午後3時
■**会場**　岩手県司法書士会館
■**無料電話相談**　☎0120-823-815 または ☎653-6101
■**問合せ**　岩手県司法書士会
☎622-3372

「法の日週間」10月1日～7日

10月1日の「法の日」を記念し、各種相談会が開かれます。

●司法書士・土地家屋調査士「無料法律相談」
■**日時**
10月1日(土)午前10時～午後3時
■**会場**　中央公民館
(10月3日～7日の期間中は、県内各司法書士事務所で相談を受け付けます)
■**無料電話相談**　☎652-9350
(10月1日のみ)
■**問合せ**　岩手県司法書士会
☎622-3372
岩手県土地家屋調査士会盛岡支部
☎631-3331

●公証相談会(無料)

公正証書は権利の争いを防ぎ自分の財産を守ります。公正証書の作成を検討している人は、この機会に相談ください。(電話相談可)
■**日時**　10月1日(土)～7日(金)
午前9時30分～午後4時
■**相談内容**
遺言／任意後見／金銭貸借／土地建物貸借／離婚に伴う養育費・慰謝料・年金分割など
■**会場・問合せ**　盛岡公証人合同役場
(盛岡市大通3丁目2-8 金属工業会館3階)　☎651-5828

ユース・スキルアップセミナー in もりおか 受講生募集!

15歳～概ね40歳で仕事に就いていない人を対象に、コミュニケーション講座・ものづくり・調理実習・職場見学などを無理なく楽しみながら、社会に出るきっかけづくりを体験できる5日間のセミナーが開催されます。
■**対象**　現在もりおか・いわて若者サポートステーションの利用登録をしていない人。
■**開催日**　9月26日・27日・28日、10月6日・7日の5日間
■**時間**　午前10時～午後3時30分
■**募集人数**　5人
■**会場**　アイーナ8F 会議室807号室
■**申込・相談窓口・問合せ**
9月22日(木)まで
もりおか・いわて若者サポートステーション
〒020-0023　盛岡市内丸11-2岩手県公会堂22号室
☎625-8460　FAX625-8461
✉mail@morisapo.jp
http://morisapo.com/

おわびと訂正

『紫波ネット9月お知らせ版』育児カレンダーの掲載に誤りがありましたので、次のとおり訂正しおわび申し上げます。
(追加)
9月6日(火)さぷりん「ネイルケア」
9月13日(火)さぷりん「ヨガ教室」
9月20日(火)
　さぷりん「簡単シュシュ作り」
9月27日(火)
　さぷりん「ハーブティータイム」
(削除)
9月26日(月)「きらりんひろば」
9月29日(木)「きらりんはうす」

紫波フルーツの里まつり2011

■**日時**　9月23日(金・祝)午前9時～午後4時　■**会場**　町内各産直
■**問合せ**　農林課　☎672-2111　内線3324

ホンモノを身につけたい! 秋の新入会キャンペーン 実施中
2011年10月31日まで

特典1 入会金15,750円(税込) 無料!
特典2 キャンペーン中にご入会の方 レッスン費4回分 無料!
特典3 英文法とのW受講がお得!
特典4 9月中にご入会の方 初月教材も無料!

・優秀な外国人講師による英会話　・わかりやすく飽きさせないレッスン
・英検合格者多数!!楽しく学んで成果が見える 大人クラスも充実

1歳半から大人まで学べる英会話教室
プリンス英米学院 盛岡南校
矢巾交番 斜め向かい
019-697-2220
紫波郡矢巾町 又兵エ新田7-209-1F
プリンス英米学院盛岡 検索 http://www.mmjp.or.jp/peg/
お電話にてご予約下さい 無料体験レッスン実施中

募　集

第10回 であい・ふれあい・めぐりあい ハートフルパーティー2011

自醸ワインとともにすてきな巡り会いをしてみませんか。

■日時　10月2日(日)午後5時～

■会場

ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング11階ギャラクシー

■対象　結婚を希望する独身男女

■定員　男25人、女25人

■参加料　男4000円、女3000円

■申込・問合せ　9月30日(金)まで

町商工会女性部　☎672-2244

市民参加

あなたの健康づくり、教えてください!

町は「元気はつらつ紫波計画」の見直しに当たり、現計画に対する皆さんの意見と、次期計画に掲載する「健康づくり体験談」を募集します。「普段から心がけている健康法」や「体操を続けて血圧が下がった」などの体験談をお寄せください。掲載は匿名となります。

■募集期間

9月20日(火)～10月10日(月)

■現計画の閲覧

役場、各地区公民館、町ホームページ

http://office.town.shiwa.iwate.jp/

■応募方法

住所・氏名を記入の上、郵送、FAX、メールなどでお寄せください。

■応募先・問合せ　長寿健康課

健康推進室　☎672-4522

FAX672-4349　有線01-8991

✉chojyu@town.shiwa.iwate.jp

市民参加

「食育推進計画」の意見募集

平成24年4月からスタートする「第二次紫波町食育推進計画」の原案について、皆さんからのご意見を募集します。

■募集期間

9月20日(火)～10月10日(月)

■閲覧　役場、農林公社、各地区公民館、町のホームページ

■提出方法

郵送、ファックス、電子メールまたは直接持参。(住所、氏名、電話番号を明記)　〒028−3392紫波町役場農林課あて　FAX672-2311

ホームページhttp://norin@town.shiwa.iwate.jp

■問合せ　農林課　食育担当

☎672-6915　有線01-8931

お知らせ

市民参加

町の都市計画にご意見を

町の総合計画基本構想に即して都市計画の基本方針を定める『都市計画マスタープラン』の見直しに当たり、皆さんからのご意見を伺うための懇談会を行います。

■対象　町内に住む人はどなたでも参加できます。

■日時・会場(時間は全て午後7時から)

10月11日(火)中央公民館

10月12日(水)赤石公民館

10月13日(木)古館公民館

※手紙やメールでのご意見も歓迎します。

■現行マスタープランの閲覧

・**場所**　各地区公民館、役場

・**期間**　9月15日(木)～10月14日(金)

役場のホームページでも閲覧できます。

http://office.town.shiwa.iwate.jp

※都市計画とは、都市計画区域内(佐比内地区と赤沢地区を除くおおむね平地の部分)における健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用(用途指定地域など)、都市施設(道路や公園、下水道、そのほか都市構造に重要な建築物やプラントなど)の整備などに関する計画で、計画の都度、都市計画審議会に諮問して決定するものです。

※マスタープランとは都市計画の基本となる方針を言う。

■問合せ　都市計画課 まちデザイン室

☎672-2111内線5221

✉toshikei@town.shiwa.iwate.jp

まき用の伐採木(梨)を販売します

購入希望者はご連絡の上、軽トラックで会場へお出かけください。

■日時　10月1日(土)～2日(日)

午前9時～午後3時まで(なくなり次第終了)

■販売会場

旧養鯉場跡地(自転車競技場北側)

■金額

軽トラック1台につき1,000円(税込)

伐採木(直径　10～30cm×長さ約1m)は、購入者ご自身で積み込み。

■問合せ　紫波町農林公社

☎907-6933

岩崎川広域河川改修事業への意見募集

県は、総事業費が50億円以上の大規模公共事業について、条例に基づき事業継続に関する再評価を行っており、次のとおり皆さんから意見を募集します。

こちら、野村胡堂・あらえびす記念館

「銭形平次を読み解く」

おもしろい捕物帳③（音と文字、筆跡を用いたトリック）

野村胡堂・あらえびす研究会　外﨑 菊敏

第18回

胡堂は耳が良く、子どものころからさまざまな音を聴き、長じてレコードを蒐集、音楽評論家あらえびすとして活躍した人。銭形平次に音を用いたトリックを考えた。

大地主で金貸しの宝屋清右衛門は、盗賊によって土蔵に閉じ込められ、静まり返った土蔵の中で、一種特別のリズムをもって響くドロボウの足音を耳にする。正常な足音に交じって、それにはずれた足音が、音楽的に言えば、シンコペーティングな（拍子の本来の強弱の位置をずらして変化を与える）リズムに聞こえた。犯人は健常な女と足の悪い男の二人組だった（『宝掘りの夜』）。

胡堂は盛岡中学時代から筆まめで、父や友人らと手紙を遣り取りした人、父に文字や書を厳しく指導された。銭形平次に手紙や文字、筆跡などが事件解決のヒントになる作品が多い。

相模屋の若旦那新助が隣に住む植木職人松五郎の娘お駒に恋した。二人は新助が大弓の矢に結び文を括りつけて飛ばして連絡し合い、密会を重ねていた。

新助の大弓の師匠佐次郎がお駒に横恋慕し言い寄って、弓矢で突き殺す。この男、浮気者の新助にお駒殺しの疑いが掛かったのを見て、お駒の通夜の晩に新助を殺す。「三途の川でお駒が待っているぞ」と、わざと左手で下手な字に書いた紙切れを遺体の側に置いた。お駒の父松五郎が新助に娘の仇を討ったように見せ掛けた。

平次は「左手で書いてハネルところに左癖がある、左手で書いても巧い人の字はウマ味がある。名筆も悪筆も一つの癖だから右で書いても、左で書いても大した手筋に違いがあるものではない、下手に上手のまねができないよう、上手に下手のまねができない」と、佐次郎の犯行を見抜く（『死の矢文』）。

ハワードさんの英語クイズ！

ハワード英語指導主事と一緒に“はいポーズ”

左から藤原美智雄校長（紫波三中）、岩泉康喜校長（紫波二中）、佗美淳校長（紫波一中）

What junior high school is located in the west side of Shiwa?

【8月号の答え】飛んで火に入る夏の虫

★正解者の中から3人に図書カードをプレゼント。郵便はがきまたは電子メールで、①住所、②氏名、③年齢、④電話番号、⑤答え、⑥『紫波ネット』の感想（意見）を記入の上、ご応募ください。締切は10月7日消印まで。

〒028-3392紫波町役場 企画課情報政策室「英語クイズ」係
Mail：joho@town.shiwa.iwate.jp

中央葬祭センター シンセラホール紫波

花瓶展示販売しております

しらゆり会員10%割引

中央葬祭センター「シンセラホール紫波」
岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
☎ 676-7676
FAX676-4404

紫波町に定住・住替をお考えの皆さんへ

宅地 分譲販売中

	残り
古館NT内	4区画
北日詰大日堂	3区画

古館駅前郷分譲地 残13区画
8月末日現在
詳細はお問合せ下さい。

不動産の売買・仲介、自社開発宅地・建物分譲
（社）全日本不動産協会会員　東北地区不動産公正取引協議会会員
岩手県知事免許（1）2255号
ウエノ不動産管理（有）
☎671-2072 FAX671-2073
日詰字下丸森9-4（養老乃瀧 紫波町店となり）
最新情報はホームページへ　ウエノ不動産管理　検索

広告有効期限／平成23年9月30日

町長からのメッセージ

防災の日

9月1日は防災の日でしたが、折しも台風12号が日本を直撃し、速度が遅いために人や建物に大きな被害を与え過ぎ去りました。9月はまだまだ台風の発生があるので、予断が許されない月であります。

現在の関心事は、福島原発のセシウム汚染であります。牛の出荷停止は8月25日に解除となり屠畜(とちく)が再開されましたが、子牛相場と牛肉の価格下落による苦慮はいまだ続いております。今後は価格保障の政治折衝となると思われます。

また、町独自に委託調査しました検査結果から、学校施設や保育施設のある場所からは、ともにセシウムは検出されず、安堵したところであります。

当町の特産品である主要果樹や野菜からも検出されず、水稲についても町全域から検出されませんでしたので、安心して生産に励んでいただきまして、消費拡大にも努めていただきたいと思います。

一概にセシウムに汚染されていないので、安心して消費してくださいと言っても、一度失った信用を取り戻すことは困難であります。一自治体や一事業者ではなく、官民一体となりながら、消費拡大キャンペーンを実施する必要があります。

国内の食糧自給率が40%から39%に下がりましたが、本年度は、さらに低下するものと予想されています。国産農産物の安全性を県内外に宣伝することで、消費拡大を図っていく必要があり、国の支援を望むものであります。

今回のセシウムの問題を始め、放射能の恐ろしさを実感しましたが、利便性の裏には危険が潜んでいることを認識して、原発については、慎重に対応していくことが必要と思われます。

藤　原　　孝

全地区で交通安全テント作戦

日詰地区交通安全協会は8月6日に実施し、小学生が交通安全を呼びかける手紙を運転手に手渡しました。

「気をつけて運転してください」と手紙を渡す児童

災害時における紫波町と民間企業等応援協定

今回新たに、(株)ユニバース紫波店と(株)薬王堂の2社が8月23日に町と協定を締結し、災害時の優先的な物資提供を約束しました。

1社ずつ調印し握手を交わしました。写真は(株)薬王堂 古川孝取締役(左)と藤原町長

日詰地区で総合防災訓練

日詰7区地内と日詰小学校、中央公民館で8月28日、23団体約990人が参加し、水害・震災・火災から地域を守る49項目の訓練が実施されました

三角バケツで消火訓練

読書の秋です!
でも、手元の文字が見えにくい。
日暮れも早く暗くて見えづらい。
そんな時、遠近両用メガネが
その悩みを解決してくれます。
遠近両用レンズ(1組)
10,000円セール!
眼鏡屋
目明かし堂
(有)サトウ時計店
http://www.meakashi.com 日詰バス停前 ☎676-2838
目明かし堂ホームページは音声情報の発信サイトです。店主のWEB音声日誌をお楽しみ下さい。
GS● ●タクシー
お買い物駐車場
よかろ
松本精肉店●
佐藤時計店●
仲町駐車場

東日本大震災、被災に遭われた方々に
心よりお見舞い申し上げます
相心館 Kami Hikoki
カミヒコーキ
○クリープウェーブ(カットブロー別) 120分……4,620円
○縮毛矯正ストレート 160分……16,800円
○Milk カラー(カットブロー別) 110分……3,675円
○天然ヘナ&インディゴ(カットブロー別) 140分……4,200円
○ベースカット(S・C・B) 45分……4,935円
○ヘッドスパ 60分……3,675円
9月定休日
5日・12日・18日・19日・26日
モーニングサービス 10%割引
〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺字古屋敷6-31 TEL019-676-5825
E-mail kamihikoki@posh.jp
新規メール会員募集中
OPEN 8:30~CLOSE 18:00
定休日／毎月曜日・第三日曜日
古館駅
Kami Hikoki
中島歯科
ローソン
たもり
加藤医院
至花巻
4号線
至盛岡

シリーズ 行ってみよう

私の好きな紫波百景

彦部農地・水環境をよくする会の皆さん

地域の力で生まれた夕陽色の街道

「彦部コスモスロード」

秋を迎え、町内各地で咲き誇るのはキバナコスモスの花。その中でも、全長6キロにもおよぶコスモスロードの整備に中心となって取り組む「彦部農地・水環境をよくする会」の花籠陽太郎代表にお話を伺いました。

私のお勧めは、この季節にしか見ることのできない彦部のコスモスロードです。

コスモスロードは、平成15年に、まだ試験段階だったえこ3堆肥を使って1ヘクタールの畑で育てたのが始まりです。その年の秋には、見事にコスモスが咲き誇り、初めてのコスモス祭りも開催しました。彦部婦人会、農協女性部、地域の婦人たちが、農産物の販売やモチ、芋の子汁のふるまいなどを行い、その後の彦部産直楽々の誕生に結びつく活動となりました。

今では、町の支援や地域の人たちのおかげで、コスモスロードが6キロ、コスモス畑が10アール、さらには空き地にもキバナコスモスが咲き誇る地域となっています。「コスモスの見頃はいつごろですか」などと聞かれるとやはり嬉しくなりますね。いずれは「彦部はコスモス」と言われるほどにもっと広め、交流の場として地域の活性化を図っていきたいと張り切っています。

今年のコスモス祭りは、10月2日(日)彦部産直広場で行います。コスモスは、開花期間が約1カ月と長く楽しめるのが特徴ですので、皆さんぜひコスモスを見にいらしてください。

お話しを聞かせてくださった
花籠陽太郎さん